

# 令和5年度 小麦生育状況 No. 5

岩手県農業研究センター生産基盤研究部 水田利用研究室  
 (生産基盤研究部：TEL0197-68-4412、FAX0197-71-1081)

## I 農業研究センター本部（北上、調査日：3月25日）

### 1 気象経過

3月の気温は、平年並み～低く経過した。降雪は、3月第1～第2半旬で平年より多くなった(図1)。

3月25日現在で、農研センター（北上）における根雪期間は0日であり、降雪・積雪のあった合計日数は52日であった。また、最も積雪が継続した期間は2月21日から3月14日の23日間であった(表1)。

### 2 生育概況

「ゆきちから」・「ナンブコムギ」の生育は、草丈は長く、 $m^2$ 当たり茎数は多くなった。「ナンブキラリ」の生育は、「ナンブコムギ」と比べて草丈は長く、 $m^2$ 当たり茎数は多くなった。幼穂の生育は、「ゆきちから」はⅦ前期～後期、「ナンブコムギ」・「ナンブキラリ」はⅦ後期～Ⅷであり、幼穂長は1.3～1.5mm程度であった(表2、3)。

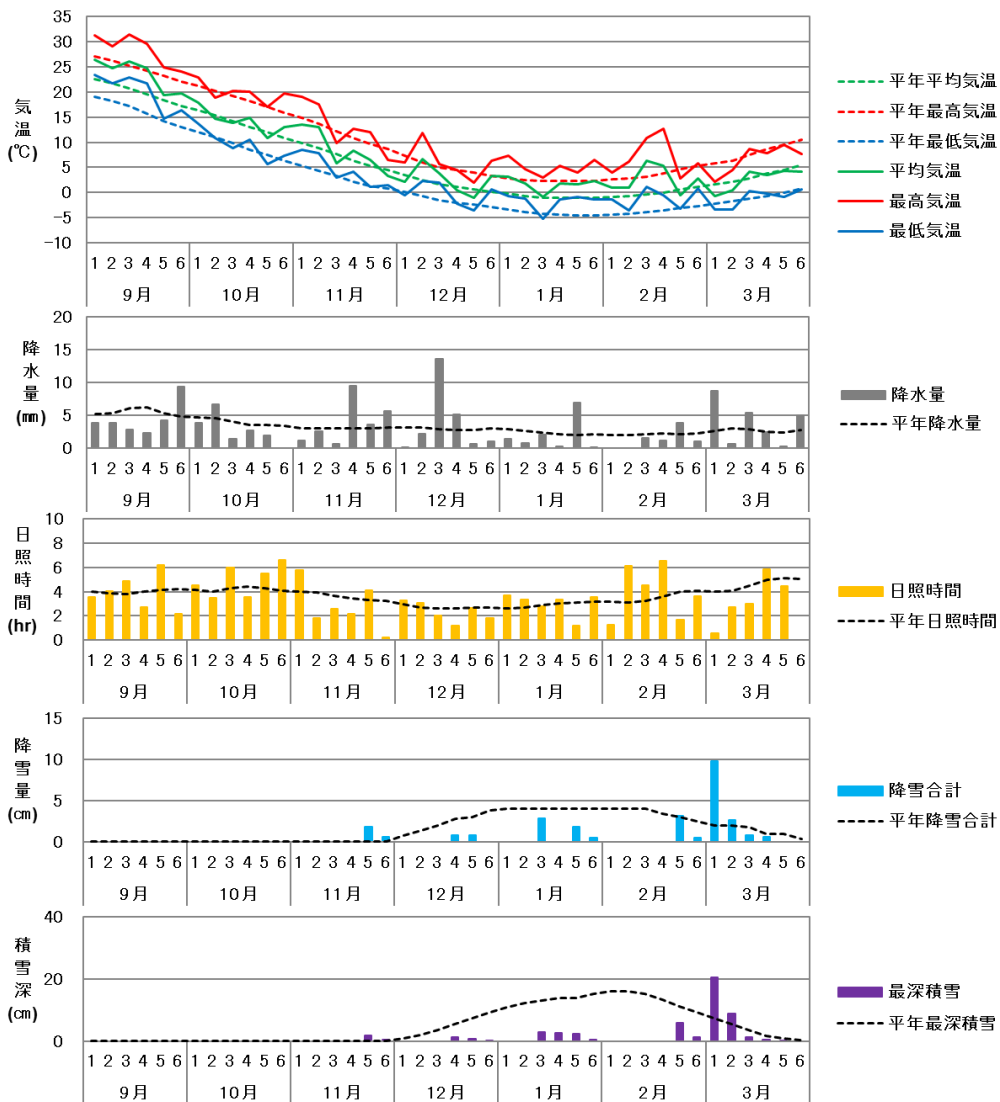


図1 令和5年播種小麦の生育期間中の半旬別気象経過図（北上アメダス）

表1 根雪期間

年次 播種－収穫	根雪期間			積雪+降雪日数
	始め	終わり	日数	
R5-6	(2/21)	(3/14)	(23)	52(3/25時点)
R4-5	12/15	2/27	75	
R3-4	12/25	3/15	82	
R2-3	12/14	2/27	76	
R1-2			0	44 ※
H30-31			0	45 ※
H29-30	12/12	3/14	94	
H28-29	1/9	3/13	65	
H27-28	1/14	2/14	32	
H26-27	12/2	2/28	89	
H25-26	12/20	3/24	96	
H24-25	12/24	3/15	83	
H23-24	12/23	3/27	96	
平年	12/22	3/8	79	

根雪期間  
 ①長期積雪(積雪継続が30日以上)の時の初日から終日までの期間  
 ②積雪継続が10日以上の間が2つ以上で、かつ、2つの期間の無積雪日が5日以内  
 ③上記②が2つ以上ある場合はそれぞれを第一、第二とし、根雪期間は第一の初日から第nの終日とする。

※は、気象庁の定める長期積雪(根雪期間、積雪継続が30日以上)を満たしていない年次

表2 生育状況(令和6年3月25日調査、播種後170日)

品種	播種年次	草丈 (cm)	葉数 (葉)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )
ゆきちから	5年	17.2	9.0	1,039
	越冬後調査時の平年値	16.4	7.8	865
	差・比	0.8	1.2	120%
ナンブコムギ	5年	17.4	9.7	823
	越冬後調査時の平年値	16.9	7.7	726
	差・比	0.5	2.0	113%
ナンブキラリ	5年	20.4	8.8	950
	越冬後調査時の平年値	-	-	-
	差・比	-	-	-

※ 平年値は、越冬後調査時(例年3月25日前後)の値であり、平成30年、令和元年～4年播種の5か年平均を用いた

表3 幼穂の生育状況

品種	播種年次	発育ステージ	幼穂長 (mm)
ゆきちから	5年	VII前期～後期	1.38
ナンブコムギ	5年	VII後期～VIII	1.48
ナンブキラリ	5年	VII後期～VIII	1.28

※ 20株/品種の主茎の幼穂を調査。

※ 発育ステージは、「コムギ・オオムギの発育調査基準の再整理(2022)」より推定

表4 耕種概要

品種	ゆきちから	ナンブコムギ、ナンブキラリ
播種期	令和5年10月4日（標準播種期：10月5日）	
栽培様式	密条播（条間30cm）、転換1年目（前作水稻）	
播種量（kg/10a）	7.0（手播き）	6.0（手播き）
堆肥・緑肥（kg/10a）	牛糞堆肥1,000	
施肥量(kg/10a) 基肥	窒素：6.0 リン酸：8.5 カリ：8.5	

雑草・病虫害防除

雪腐病（種子消毒）	ベフラン液剤25：原液
縞萎縮病（播種前）	フロンサイドSC：600mL※（10月3日）
除草剤（播種後）	ガレースG：5kg（10月7日）
雪腐病（根雪前）	フロンサイドSC：100mL※（12月4日）
除草剤（秋）	エコパートフロアブル：100mL※（11月15日）

※ 100Lの水で希釈し10aに散布



写真1「ゆきちから」のほ場の様子 (3/25 撮影)

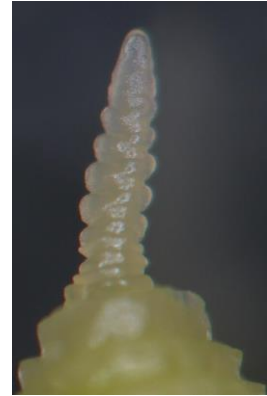


写真2「ゆきちから」の幼穂



写真3「ナンプコムギ」のほ場の様子 (3/25 撮影)



写真4「ナンプコムギ」の幼穂



写真5「ナンプキラリ」のほ場の様子 (3/25 撮影)



写真6「ナンプキラリ」の幼穂